



京都市京北文化遺産センター企画展

源氏物語 祈の抄

— 深山に残された平安の仏宝 —



日 時：令和6年3月2日(土)~12月16日(月)

開館時間：午前10時~午後4時

※開館日は毎週月・土・日曜日、祝日（年末年始を除く）

場 所：京都市京北文化遺産センター 交流ルーム

〒601-0321

京都市右京区京北塔町中筋浦8-1

元京北第二小学校内

電話番号：075-744-0942

※開館日のみ繋がります。



施設詳細はこちら

入館料
無料



アクセス

- JR 京都駅・阪急大宮駅・京福電鉄四条大宮駅より西日本 JR バス「周山」下車、京北ふるさとバスに乗り換え「塔天満宮社前」下車 すぐ
 - 名神高速道路「京都南 IC」より車で60分
 - 京神縦貫自動車道「園部 IC」より車で35分
- ※駐車場有り



京都市内には『源氏物語』の舞台となった場所が数多く存在し、平安時代の遺構や遺物が発掘調査等で多数確認されています。『源氏物語』では華やかな恋模様が描かれる一方、仏に祈りをささげる場面も多く、都を離れた山寺が物語の舞台となるシーンもあることから、平安貴族の仏教思想が山林と深く結びついていたことがうかがえます。

今回は、『源氏物語』の世界とその作者である紫式部が生きた時代を彷彿とさせる遺跡から出土した遺物を展示するとともに、平安貴族が山林に求めた仏教思想に注目し、平安京と周辺の山林寺院から発見された仏教関連資料を紹介します。

初公開の遺物も多数展示しますので、是非お楽しみください。

第1部 源氏物語の世界

『源氏物語』の舞台となった平安時代の暮らしや祭祀を今に伝えるものは、発掘調査などで発見された遺物です。今回の展示では、宮廷世界である「平安宮」、貴族邸宅などで代表される「平安京」、そして、物語の中で度々登場する「平安京周辺」の世界に分けて紹介します。「平安宮」では大宿直跡や豊楽院跡、「平安京周辺」では朱雀院跡や右京三条二坊一町跡、「平安京周辺」では雲林院跡や鳥部(辺)野などから出土した遺物を展示します。

第2部 平安への祈り

紫式部が生きた平安時代の貴族社会は、身分に縛られた厳しい格差社会でもありました。貴族たちは、日々の苦しみや死後の世界での苦難から逃れるために、仏教を信仰し、世俗を離れた深山に聖地を求めました。平安京の周辺の山々には、当時の遺跡がひっそりと残っています。今回の展示では如意寺跡、伝日輪寺跡などの遺物も展示します。



平安京右京九条二坊八町跡出土白磁四耳壺



平安宮大宿直跡出土土器・軒平瓦



平安京右京三条二坊一町跡出土土器



豊楽院東華殿跡出土「栗」銘軒平瓦



豊楽院東華殿跡出土軒丸瓦